

# 多高通信



第235号 令和7年7月29日発行  
さどく ゆたかに たくましく  
宮城県多賀城高等学校

## 災害科学科

### 日本地球惑星科学連合

#### 2025年大会参加!



5月25日(日)に千葉県幕張メッセで1週間にわたり開催される国際学会「日本地球惑星科学連合2025年大会」に、災害科学科3年生の課題研究チーム2班が参加してきました。この学会は、毎年5月最終週に千葉県幕張メッセを会場に開催される

もので、国内外を問わず多くの地球惑星科学に関連する研究者が一堂に集って活発な議論を交わす国際学会です。多賀城高校では災害科学科開設時(平成28年)に入学した1期生が2年生となった平成29年(2017年)から、毎年参加しています。今年度は海洋研究開発機構様の「日本列島」当地自慢日本列島はどのようにできたのか?みんなの足元からその地史を読み解く」にも参加して、災害科学科1年生が経験する浦戸巡検の紹介や、松島地域の地学的な魅力について発表してきました。年々高校生が増え、多くの研究者の方々や地域の高校生と議論するだけでなく、課題研究の大きなヒントを獲得できる貴重な場にもなっており、大いに刺激を受けました。

#### 1学年

#### くらしと安全 A 特別授業

#### 「DIG(ディグ)・・・災害図上訓練」

6月4日(水)に、今年度も株式会社エイト日本技術開発より寺脇学様を講師に迎え、くらしと安全 A 特別授業「DIG(ディグ)・・・災害図上訓練」が行われました。

「DIG」とは Disaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)の頭文字を取って名付けられた災害図上訓練です。さらに「dig」は「掘る」という英語の動詞であり、「探究する」「理解する」と訳されます。そこには、「防災意識を掘り起こす」「まちを探究する」「災害を理解する」という意味も込められています。今回のDIGでは、架空の地域の地図を用いて、過去にそこで起こった豪雨災害時の浸水状況の情報を与え、過去に起こった豪雨災害よりも多い雨が降るといふ予報が出ているという想定で、地図上のどこに住民を避難させるかというところを行いました。1グループ4〜5人で自分の意見を出し合って、合意形成を図り、避難場所や避難ルートなどを考えていました。各グループの考えを他のグループと発表し合うことにより、より深い学びになったと思

ます。今年も講師を快く引き受けてくださった株式会社エイト日本技術開発様、寺脇様、本当にありがとうございました。今回の学びを次の学習や実践する力に繋げていきたいと思



#### 男子バスケットボール部

#### 高校総体結果報告!

男子バスケットボール部はプレイヤーの3年生9名、2年生9名、1年生12名、マネージャーの3年生2名、1年生2名、計34名で高校総体に参加しました。

#### 仙塩地区予選二次リーグ

対青陵 84対18 勝利  
対泉館山 46対108 敗戦

#### 代表決定トーナメント

対尚綱 74対70 勝利  
対仙台東 75対69 勝利

#### 県大会出場決定!

1回戦 対角田 77対51 勝利  
2回戦 対古川学園 50対89 敗戦

県ベスト32!

チームで団結して戦い抜き、県大会ベスト32という結果を残すことができました。目標のベスト16は一步及びみせんでしたが、3年生の晴れ晴れとした表情からは勝利よりも価値のあるものを得たことが窺えました。部活動で培ったことをいかして更に飛躍してくれることを思います。1、2年生には3

年生の想いを受け継ぎ、新チームの目標に突き進んでくれることを期待しています。部の活動を支援してくださった全体的の方に感謝申し上げます。今後とも多賀城高校男子バスケットボール部の応援をよろしくお願



#### サッカー部 高校総体結果

2回戦 対名取北 8対0 勝  
3回戦 対ウエルネス宮城 3対1 勝  
準々決勝 対聖和学園 0対3 敗

チームの目標である優勝には手が届きませんでしたが、大会期間を通して、これまで以上に保護者や生徒、卒業生、学校関係者を含めた「TEAM TAGAJO」の力を強く実感しました。心より感謝申し上げます。今大会を通じて経験することのできた全てのことを糧に、次の目標の実現に向けて力強く進んでいきます。今後とも応援、よろしくお願

